



エコ・ファーストの約束（更新書）

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 山本 公一 殿

平成28年10月1日

大成建設株式会社

代表取締役社長

村田 誉之

大成建設は、「人がいきいきとする環境を創造する」ことをグループ理念とし、「人と自然との関係を大切にする」という経営姿勢のもとに、建築及び土木の施設・構造物の建設等を通じ「環境の保全と創造」に努め、良き企業市民として社会的責任を果たしていくため、以下取り組みを積極的に推進してまいります。

1. CO₂ 排出抑制に努め、低炭素社会構築に向けた社会資本整備に積極的に貢献します。

- ・ZEBの研究、実証、普及など、建物の省エネ技術の開発や提案を積極的に行い、お客様にお引渡しする当社設計における建物運用段階のCO₂予測排出量を2020年度までに40%（1990年比）削減します。
- ・作業所における省エネルギー活動・省燃費運転（エコドライブ）の推進、CO₂ゼロアクション（全作業所におけるCO₂ 排出削減の取組み）への取組み及びオフィスにおける省エネルギー活動の推進により、当社におけるCO₂ 総排出量を2020年度までに50%（1990年比）削減します。
- ・最新型タワークレーンや大型重機・大型車両の使用による台数削減等により施工時環境負荷の最小化を目指したエコモデルプロジェクトを2020年度まで年24件以上展開します。

2. 資源の有効利用に向けた取り組みを積極的に推進します。

- ・建設リサイクル法における特定建設資材の再資源化率100%を2020年度まで実施します。
- ・梱包材の削減や資材類の作業所間利用等により、3R活動を推進し、2020年度まで廃棄物の最終処分率を5%以下にします。
- ・グリーン調達を推進し、高強度コンクリートや省エネルギー型設備機器、再生材使用機材等の採用により2020年度までグリーン調達率30%を実施します。
- ・2020年度まで電子マニフェスト普及率80%以上を実施します。
- ・施工時環境負荷の最小化を目指したエコモデルプロジェクトを2020年度まで年24件以上展開します。

3. 環境教育・研修を実施し、生物多様性の保全など環境貢献活動にも積極的に取り組みます。

- ・環境法規制の知識や会社の環境方針・目標、環境事例等の環境教育・研修を2020年度まで年間30回以上合計180回以上実施します。
- ・工期1年以上の作業所について、環境法規制や会社の環境方針・目標への適合状況を確認するために作業所環境パトロールを2020年度まで年間2回以上合計12回以上実施します。
- ・地方自治体やNPOと共同で社員による下草刈りや間伐等の緑地保全活動を2020年度まで年間2回以上合計12回以上実施します。
- ・NPOと共同で巣箱作り等、樹上動物の保護活動を2020年度まで年間1回以上合計6回以上実施します。
- ・公益信託に資金を拠出し、NPO等の環境貢献活動を2020年度まで助成します。
- ・地方自治体やNPO、大学と連携し、森の魅力を教宣することを目的とした環境保全に係る体験プログラムを2019年度まで年間3回以上合計15回以上実施します。

注：エコモデルプロジェクトとは、省エネタイプ仮設備の導入、低燃費型・低排出ガス型建設機械・車両の利用の推進、産業廃棄物の減容化や雨水・排水の再利用等により施工時環境負荷の最小化を目指す作業所。